

令和3年度 天童市立高揃小学校だより

天童市立高揃小学校
〒994-0068 天童市大字高揃北239番地
TEL023-655-2051 Fax023-655-7650

令和3年度 第5号 令和3年 7月 5日

発行者：校長 樋口良彦

〒994-0068 天童市大字高揃北239番地

TEL023-655-2051 Fax023-655-7650

ましみずの里



学校教育目標 「自ら学び、ともに伸びる 一夢に向かう くらしづくり」

めざす子供像 自ら考え表現し合う子、自ら開きわかり合う子、自ら挑み高め合う子

6年修学旅行で山形県の歴史と文化を体験

7月1日(木)・2日(金)に、6年生が修学旅行に参加しました。新型コロナウイルス感染症が心配されたので県内を巡る旅行とし、密を避けるためにバス2台を手配。宿泊は定員の半数を目安に各部屋3～4名。もちろん朝と食事毎の検温も欠かさず実施。参加した児童41名全員は、2日間大きな体調不良もなく、最上・庄内方面の歴史と文化を見学と体験を通じて楽しく学びました。

下の写真は、天童西沼田遺跡公園での火起こし体験、戸沢村での船下り体験、鶴岡市富樫ろうそく店での絵付け体験、そして酒田市オランダせんべいファクトリーでのせんべい手焼き体験の様子と、日本海に沈む夕日とホテルの食事風景です。資料や映像等でいくら学んでも、本当のことは実際やってみないとわからないし、自分の目で見てみないとわからないもの。五感をフル活用するたくさんの瞬間は、児童に様々な学びをもたらしたようでした。

児童が事前に決めたためあては、『みんなで協力し、自りつして、楽しく学習しよう!』でした。敢えて「自りつ」と表記し、そこに“自立”と“自律”の2つの意味を重ねています。普段の生活とは異なる修学旅行だからこそ、「他に頼らず自分一人で行うことができること」と「自分で考えコントロールすること」の双方での成長めざしました。2日間の各行程で児童の活躍場面があり、それぞれが自身の語りと行動、そして心構えを調べて臨みました。集合予定の時刻が延びたり、無軌道な振る舞いで教員が叱責したりすることなど一つもありません。“自立・自律”の意味を、体験を通じて修めた児童たち。その様子を目にしなが、少し誇らしい気持ちにもなりました。



後輩と母校の成長を願う先輩からの贈り物

— 米野 大介様(アユミ産業株式会社代表取締役)より寄贈 —

6月22日(火)に、本校卒業生である米野大介様(アユミ産業株式会社代表取締役 写真右側)が来校され、教室学習用パーテーション3台と、パソコン及び蔵書管理システム一式を寄贈いただきました。図書室では既に4月から新しいパソコンを使わせてもらい、バーコードスキャナーによる貸し出し手続きが始まっています。この日お持ちいただいたパーテーション3台は、児童が学習に集中できるよう、必要な教室で使わせてもらう予定です。

寄贈式には、この取り組みの仲立ちをしてくださったきらやか銀行の藤島正史天童支店長と郷野光孝本業支援課長も同席されました。昨年度郷野さんは、使い勝手の良いサイズにするため、何度も学校に足を運んでくださり、この日まで導いてくださいました。本校児童の健やかな成長を願う多くの方々のお力添えの賜物を、ずっと大切にさせていただきます。誠にありがとうございました。



危険を察知し、自分の身を守る

— 「不審者対処避難訓練」を実施しました —

6月28日(月)に、不審者など身の危険を察知した際の対処行動を学ぶ避難訓練を実施しました。先月上旬、「大阪教育大学附属池田小学校襲撃事件」から20年となったことが各種メディアで取り上げられました。2001年6月8日に発生したこの事件は、安全なはずの学校で尊い命が奪われ、ケガ人が多数出る痛ましい事件であり、今も苦しみを抱えて生きる方々が大勢いらっしゃいます。県内では、こうした重大事案はないものの、児童への声かけ事案は頻発しています。県警の「やまがた 110 ネットワーク(電子メールで安全安心情報を提供する取り組み)」に上がる報告も、後を絶ちません。児童自身が危険を察知すること、そして、身を守る行動をすぐにとることで、危機を回避できる力を育てたいと考えました。

この日は、天童警察署の上席少年補導専門官と県警察本部のスクールサポーターを講師に迎え、3~6年生が身を守る行動について体験を通して学びました。下校途中や公園などでこうした事案に遭遇することが多いことから、見知らぬ人から声を掛けられた際の的確な判断と、相手と距離を取りいつでも逃げられるようにすることなど、大事なことを再確認できました。1・2年生は、危険な場面とその対処を、各教室で各学級担任から学びました。

